

日本材料学会第 335 回疲労部門委員会，第 67 期学術講演会 参加報告

博士課程 3 年 武末翔吾

私は 2018 年 5 月 25 日～27 日に高知工科大学永国寺キャンパスで開催された日本材料学会第 335 回疲労部門委員会に参加し，第 67 期学術講演会で発表致しました。

初日の 25 日は第 335 回疲労部門委員会に出席しました。今回は X 線材料強度部門との合同で「表面改質材の損傷と残留応力」というテーマで 3 件の講演が行われました。私自身の研究テーマでもある表面改質および表面改質材の疲労，残留応力について複数の講演を聴講でき，非常に有意義なものでした。

発表は学術講演会の 1 日目の 26 日に「AIH-FPP 処理によるステンレス鋼表面での Fe-Al 金属間化合物の創成」という題目で行いました。今回，材料学会では初めて一般セッションで発表しました。私が発表したセッションでは，「表面処理」というテーマで 4 件の発表が行われました。聴講された方の数は他のオーガナイズドセッションよりは少なかったですが，5 分間の討論では複数の先生方からコメントをいただくことができました。今後の研究に役立てていきたいと思えます。また今回は，学術講演会も 2 日間にわたり参加できたため，私の研究分野である表面処理や疲労に関するたくさんの方の発表を聴講することができ，非常に有意義なものとなりました。

最後になりましたが，今回このような機会を与えていただき，また発表練習等にお付き合いいただいた小茂鳥先生に深く御礼申し上げます。また，今回の発表で連名者となっただき，日頃より研究についてご指導いただいている高周波熱錬株式会社の三阪様，小茂鳥研究室在籍時に今回発表した研究について主導的に取り組んでもらった齋藤周也君に感謝申し上げます。



会場となった高知工科大学永国寺キャンパス